

自己評価公表シート

令和7年度 第1回 津山社会福祉事業会 津山保育園

1. 本園の保育目標

<p>子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。 豊かな生活経験のなかから基本的な生活習慣を身につける子どもを育てます。 安定した気持ちで様々な活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。
--

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育目標・保育・行事について 職員が連携して「子どもの最善の利益の尊重」を最優先して子ども主体とした保育を行う。	前年度に第三者評価を受審したうえで、事業計画をあげている。引き続き「人権」について月目標をあげて毎月振り返りを行い、次月に繋げている。行事については一部をクラス単位で発達に合わせた参加に見直して行っている。保育参観や虹っ子祭りについては父母の役員会にて内容の検討を行っている。
開かれた保育所づくり 信頼される保育園として、保護者、地域、専門機関との連携と貢献を図る。	様々な家庭でのニーズを把握し、保護者と送迎時や懇談で思いを受け止め、安心して子育てが出来るよう関わりを深めていく。地域とは災害時に備えて津山文化センターへ実際に避難訓練を行い、課題を見出している。また、津山市の架け橋プログラムで津山市立東小学校と連携をとることになっている。
運営・保健・安全指導について 自分の職務や役割分担を理解し、安心安全な保育について、職員間で連携を取りながら責任を持ち意欲的に取り組む。	引き続き職員全員が交替で同じ内容の会議に参加できるようにしているが、意見にズレが生じる事もある。小人数でグループワークを行うことで理解し合えるようにしている。保健・安全面については感染症対策、安全衛生各委員を中心に伝達を行っている。
資質向上（研修・情報）について 保育士・栄養士等人間性と専門性の向上のため、一人ひとりが目標を持ち、保育の質を高める。	研修計画に基づき、自身の経験、専門性に合わせた研修に多くの職員が参加できるよう努めている。研修内容を全体で周知、共有することが課題である。

3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
子どもの主体性を尊重した保育の計画を行う。	年齢別チーム等で、こども自らが考えて遊ぶことのできる環境作りについて話し合い定期的実践する。実践内容は美作大学の講師にもアドバイスをもらい、継続して安定した関わりが出来るようにしていく。
保護者、地域、小学校との連携を図り、子どもが安全に安心して過ごせるようにする。	今年度は保護者ととも引き渡し訓練を行い、保護者からの意見も伺ったうえで防災に備える。地域の在宅家庭にはれそら広場の紹介等情報発信を行う。東小学校とは、相互訪問を行い小学校への接続に向けて共通理解が深まるようにする。
全職員の共通理解と安全対策の遂行に努める。	連絡会ノートに加えルクミー（ICT）も活用して、他クラス、他部署の状況も把握しやすくする。安全対策については、感染症、熱中症対策を含めて具体的な対応手順を周知して誰もが対応できるようにする。
全ての職員の資質向上に努める。 コンプライアンスの徹底に努める。	研修内容を業務にいかせる方法について研修参加者と検討する。コンプライアンスの徹底を図るため、法令等の知識を定期的に伝達するとともに、普段からコミュニケーションをとり話をしやすい雰囲気作りに努める。